

## 1 . 総務本部報告

厳しい経済環境下で今シーズンもいろいろな面で県連活動に支障が出ました。登録人員の減少は6600名となり、今後のSAK組織運営に大きな影響が出ることは避けられません。それらに危機意識をもった理事会は緊急に「活性化委員会」を招致し、組織に「活」入れるべく対応をしたところでもあります。「規約・規程委員会」も発足し「役員選出規程」「ブロック規程」と改定案を答申頂きました。この2つの委員会は年度末となった為、来期へ引き継いで運営がなされます。

事務所はOA機器等の充実により、ようやく使いやすくなりましたが、機能面ではまだまだ劣ります。財政とにらみわせて総合検討が必要となっています。

マスメディアの活用はまだまだの感があります。教育、競技各本部と連携して対応する必要があります。

会員登録減少は大きな波紋を投げかけています。単なる「財政検討」だけでは今後大きな問題となるでしょう。「活性化委員会」の答申内容を含め総合ビジョンが必要と思われます。

規約規程委員会を開催し、答申を受けました。夏季評議員会で審議いただきます。

登録作業がようやくスムーズになりましたが、スノーボー含めまだまだ問題があります。来期に向け検討、改善する必要があるでしょう。

北海道は千葉と共催で引き続き、県下のスキー普及の場として取り組んだ事が良いと思われます。